

2006 年度

科目名 倫理学	対象学科・学年 文学部日文1回生 教育教福1回生 文学部英米1回生 文学部教福1回生 文学部文財1回生 文学部コミ1回生	担当者 池田 清
授業テーマ 人権思想 環境倫理 生命倫理 情報倫理		
授業の概要と目標 ゴミ問題や地球温暖化（環境問題）、臓器移植問題や安楽死問題（医療問題）、IT によるプライバシーの侵害や著作権の侵害（情報の問題）、これらは、身の回りで起きている問題である。授業は、これらのきわめて現実的な問題に関する法律や暗黙の了解の背後にある一定のルールを洗い出し、人権の尊重という点から、そうしたルールの適用範囲と限界を見定める。他者の人権にいつそう敏感になること、これが授業の目標である。		
評価方法 出席、レポート、本試験から総合的に評価します。		
テキスト テキストは使用しません。適宜資料を配布しますが、講義ノート中心です。	著者	出版社
参考書 授業中、その都度指示します。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1 倫理学史 「幸福って何?」「〈正しい〉行動って何?」「社会のルールって何?」 2 応用倫理学の誕生 「環境倫理って何?」「生命倫理って何?」「情報倫理って何?」 3 生命倫理の誕生とその現在 「死ぬってどういうこと?」「子供を産むってどういうこと?」「医者と患者の関係って何?」 4 環境倫理の誕生とその現在 「自然保護って何?」「みんなが幸福になれるのなら、少しぐらいの犠牲はしょうがないの?」 「(私はしょうがないけど、子供や孫のことを考えると) ってどういうこと?」 5 情報倫理の誕生とその現在 「新聞と IT ってどう違うの?」「PC って何ができるの?」「プライバシーの侵害って何?」 ◎倫理学は、決して堅苦しい道徳ではありません。身の回りで起きていることに対して、普段は「それ、当たり前やん」と思っていますが、「そやけど、〈当たり前〉って何で思うたんやろ?」と自問したとき、既に倫理学の入り口に立っているのです。さらに、自分が知らない内にいつの間にか心にインプットされたルール・マナー・作法などに関して、「何で?」と疑問をもち、「みんなも〈当たり前〉思うてるんやろか」、「〈当たり前〉って思うのは、みんなにとっても〈良いこと〉何やろか」など自問するなら、倫理学に既に足を踏み入れています。 授業では、環境問題や医療問題などを扱いますが、皆さんを倫理学に誘うために、また学習したことを整理するために、二回に一回は授業中に 30 分程度の時間をとってレポートを書いてもらいます。 倫理学の授業を有意義で面白いものにするために、気楽に、しかも積極的に授業に参加して下さい。		